

款	項	目				
4	1	5	担当部局・課名	市民部 環境政策課		
事業区分		継続事業 (拡充)		第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」		
事業名			節名称		予算額 (千円)	
脱炭素普及啓発事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 07報償費 (④講師謝礼)	500	
				② 10需用費 (①消耗品費)	125	
				③ 11役務費 (⑧その他保険料)	5	
				④ 12委託料 (①業務委託料 (物件費))	3,500	
				⑤ 13使用料及び賃借料 (④自動車借上料)	101	
補正区分	第2回臨時会補正					
* 補正予算事項別説明書			⑥ (①~⑤の計) →		4,231	
該当ページ	20 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			31	
	21 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			4,262	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	4,262					4,262
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	脱炭素社会の実現に向けた地球温暖化対策の必要性の普及をめざす。 認知度の向上と行動の実現に向けて、各種広報媒体による一体的な啓発 (ポスター、チラシ作成等)、環境セミナーによる啓発を行う。 また、(仮称) 未来環境会議において、若い世代の感性や意思を脱炭素条例やカーボンニュートラル宣言に反映させる。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	①07報償費 (④講師謝礼) 500千円 環境セミナー講師謝礼 ②10需用費 (①消耗品費) 125千円 環境セミナー啓発グッズ 400個×275円=110,000円 環境セミナー消耗品 15,000円 ③11役務費 (⑧その他保険料) 5千円 (仮称) 未来環境会議 視察保険料 (旅行傷害保険) 10人×245円×2回=4,900円 ④12委託料 (①業務委託料 (物件費)) 3,500千円 (仮称) 未来環境会議 運営支援業務委託料 2,000,000円 脱炭素普及啓発事業委託料 1,500,000円 ⑤13使用料及び賃借料 (④自動車借上料) 101千円 (仮称) 未来環境会議 視察研修バス借上料 1台×8,100円×6時間×2回=97,200円 高速利用料金 1,850円×2回=3,700円 ⑦10需用費 (③食糧費) 31千円 (仮称) 未来環境会議 会議お茶代 10人×100円×9回=9,000円 (仮称) 未来環境会議 視察弁当代 10人×1,000円×2回=20,000円 環境セミナー講師へのお茶・弁当代 1人×1,500円=1,500円					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						



款	項	目	担当部局・課名				
4	1	5	市民部 環境政策課				
事業区分		新規事業		第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」			
事業名			節名称			予算額 (千円)	
地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 07報償費 (①委員等謝礼)	252		
				② 10需用費 (③食糧費)	3		
				③ 11役務費 (①通信運搬費)	327		
				④ 12委託料 (①業務委託料 (物件費))	9,946		
				⑤			
補正区分		第2回臨時会補正					
* 補正予算事項別説明書			⑥ (①~⑤の計) →			10,528	
該当ページ		20 / 頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
		21 / 頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			10,528
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度 (予定)	10,528	7,895				2,633	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金					
	県支出金						
	負担金						
事業内容及びその目的 (めざすもの)	2050年のカーボンニュートラルの実現を見据えた、再生可能エネルギーのポテンシャル調査や目標設定、脱炭素化に向けた施策等をまとめた実施計画の策定を目的とする。 また、CO ₂ 排出量削減の取組を地域課題の解決や地域経済の活性化につなげていく。						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>①07報償費 (①委員等謝礼) 252千円 地域脱炭素関連検討委員謝礼 ・学識委員 2人×30,000円×3回=180,000円 ・その他委員 8人×3,000円×3回=72,000円</p> <p>②10需用費 (③食糧費) 3千円 地域脱炭素関連検討委員会お茶代 10人×100円×3回=3,000円</p> <p>③11役務費 (①通信運搬費) 327千円 市民アンケートに係る郵便代 (市民1,500人+事業所100件) × (120円封書+84円返信封書) = 326,400円</p> <p>④12委託料 (①業務委託料 (物件費)) 9,946千円 地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援業務 9,945,705円</p>						
別添資料	無						
(一覧表/図面等)							

